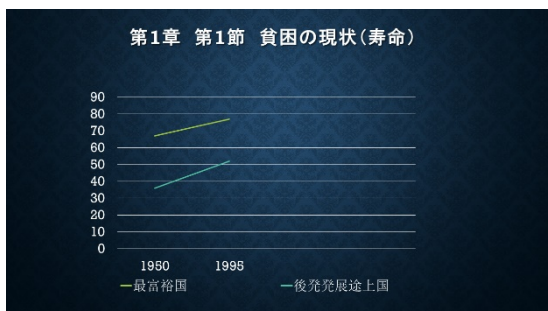
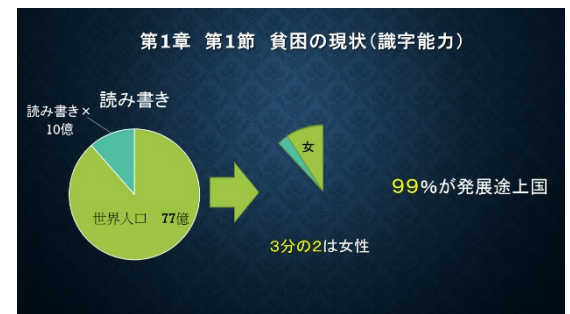
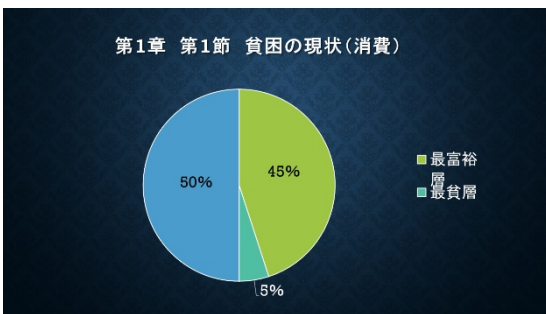
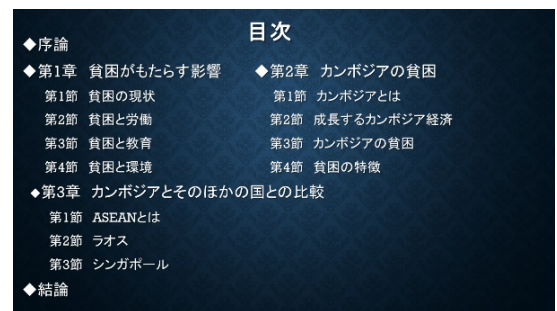
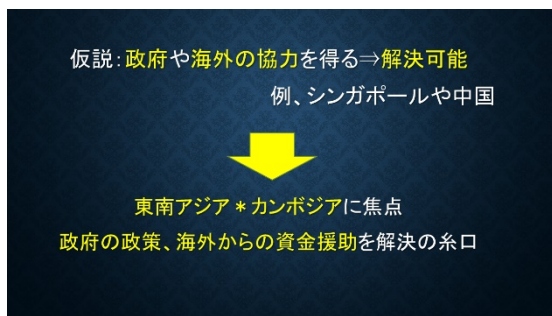
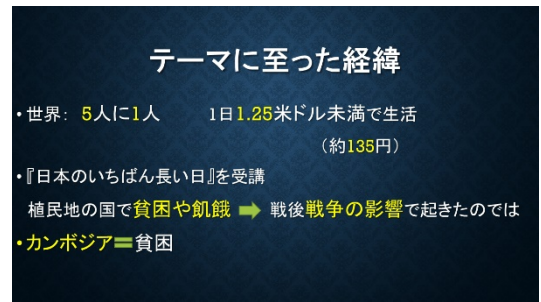
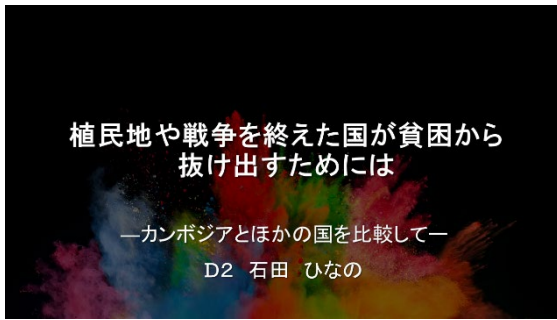


「学術研究」レポート発表例

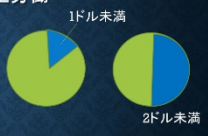
植民地や戦争を終えた国が貧困から抜け出すためには

石田 ひなの




第1章 第2節 貧困と労働

- 70億人中12億人 1日1ドル未満
- 人口の半分 1日2ドル未満
- 労働 女性子供に影響
- 農村地域の貧困者 農業に依存
- 貧困者 必要なカロリー 70~80%を供給
- 農業は輸出するため



第1章 第3節 貧困と教育

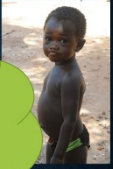
- 東南アジア就学率 75%~86%上昇
- 発展途上国の1億1300万人以上の子供が基礎教育✳
- 60%は女兒
 - 親たちが子供の妨げ
- カリキュラムは、植民地時代のもの
 - 基礎知識の習得に着目する必要



第1章 第4節 貧困と環境


- 飢餓と健康問題
- 社会的健康問題

基本的ニーズへのアクセス必要



第2章 第1節 カンボジアとは

- 少数民族で構成
- 縁故主義、ポル・ポトの民主カンボジア
- 人的損失 + ベトナムとの国境紛争の打撃 = 衰退
- 新政権を樹立
- 冷戦終結 → カンボジア国




第2章 第2節 成長するカンボジア経済

- 1980年代 農業国
- 独自の産業
- 第一産業
- 第二産業
- 第三産業
- 第四産業
- 第五産業 投資・観光


1995年~2010年 経済規模

経済大国へ



第2章 第3節 カンボジアの貧困


- 経済成長: 都市部、非農業 → 人口の8割 → 農村部が取り残されている
- 国全体 貧困削減 進んでいる
- 国家戦略開発計画 貧困削減
 - 短期的: 貧困層 セーフティネットを充実化
 - 長期的: 経済競争力を強化



第2章 第4節 貧困の特徴

- カンボジアの貧困の特徴
- 1. 機会の欠如
- 2. 脆弱性
- 3. 能力開発の低さ
- 4. 社会的疎外

カンボジア貧困層の底辺: 帰還難民 = 人口の5パーセント
内戦が影響




第3章 第1節 ASEANとは

- 第一グループ: シンガポール、ブルネイ 先進国レベルの経済水準
- 第二グループ ASEAN4: マレーシア、タイ、フィリピン、インドネシア 急速な発展
- 第三グループ CLMV諸国: カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム 経済的な遅れ

課題への協力弱い






世界銀行: 持続的な経済成長、所得格差の縮小・貧困の緩和の同時
「東アジアの奇跡」



第3章 第2節 ラオス

- 最貧国
- 首都のビエンチャン 貧困 ✖ ← 田舎や山岳地帯
1日2ドル以下
- 外国企業 直接投資増加 経済全体が好調
- 労働人口の8割 農民
- 政府 農業を支援 → 貧困削減へ

第3章 第3節 シンガポール

-  アジアで最も豊かな国
-  国防の次に教育
-  国が教育の投資
-  学習内容の質、量、速さ変更
-  英語 = 教育言語

結論

貧困から抜け出すためには

- 国際関係関与 → 経済的利益確保
- 特定の大国の依存 避ける
- 外交・外交経済関係 多角化
- 独立と主導権 確保
- 政府の力 例: シンガポール

- ジェレミー・シーブルック『世界の貧困』(青土社、2005)
- 樋口美雄・石井加代子・佐藤一磨『格差社会と労働市場』(慶應義塾大学出版会株式会社、2019)
- エステル・デュフロ『貧困と闘う知』(みすず書房、2017)
- 廣畑伸雄、福代和宏、初鹿野直美『新カンボジア経済入門』(日本評論社、2016)
- 上田広美、岡田知子『カンボジアを知るための63章』(明石書店、2012)
- 黒沢朱司、金子芳樹、吉野文雄『ASEANを知るための50章』(明石書店、2015)
- 菊池陽子、鈴木玲子、阿部健一『ラオスを知るための60章』(明石書店、2010)
- カム・ウォーラベット『現代ラオスの政治と経済』(めこん、2010)
- 釜山政宏『なぜ？シンガポールは成功し続けることができるのか』(新灯印刷株式会社、2014)
- 認定NPO法人アクセス『貧困が生まれる背景』<https://access-jp.org/activity/background>最終検査日2019.8.20
- Free The Children Japan『児童労働』<http://www.ftcj.com/get-educated/child-labor.html>(最終検査日2019年8月20日)
- 日本ユニセフ協会『すべての子供に、五歳の誕生日を』https://www.unicef.or.jp/special/10year/5th_birth.html最終検査日2019.8.20

「学術研究」レポート要旨の例

【Title】

植民地や戦争を終えた国が貧困から抜け出すためには
—カンボジアとほかの国を比較して—

3-D class No.02 【 石田 ひなの 】

【Summary】

世界では5人に1人が1日1.25米ドル未満で生活している。本研究の目的は、カンボジアと東南アジアの国を比較し、植民地や戦争を終えた国が貧困から抜け出す方法を明らかにすることである。私はシンガポールを例にあげて、貧困は政府や海外の協力が得られれば、必ず解決することができるという仮説を立てた。

第1章では、貧困がもたらす影響である現状、労働、教育、環境の差について述べる。そしてカンボジアの貧困に着目し、カンボジアについて説明した後経済、カンボジアの貧困と特徴について述べる。第3章では、東南アジアの国々の貧困を記し、カンボジアの貧困と比較する。

【Keyword】

貧困、カンボジア、労働、教育、GDP

【Outline】

はじめに

第1章 貧困がもたらす影響

第1節 貧困の現状

第2節 貧困と労働

第3節 貧困と教育

第4節 貧困と環境

第2章 カンボジアの貧困

第1節 カンボジアとは

第2節 成長するカンボジア経済

第3節 カンボジアの貧困

第4節 貧困の特徴

第3章 カンボジアとそのほかの国との比較

第1節 ASEANとは

第2節 ラオス

第3節 シンガポール

おわりに

【References】

- ・ジェレミー・シーブルック『世界の貧困』(青土社、2005)
- ・上田広美、岡田知子『カンボジアを知るための62章』(明石書店、2012)
- ・峯山政宏『なぜ？シンガポールは成功し続けることができるのか』(新灯印刷株式会社、2014)